

北勢国道事務所

50年のあゆみ



事務所全景 [四日市市内]

平成 25 年 11 月



国土交通省中部地方整備局
北勢国道事務所

目次

■ 50年誌の発刊にあたって	
■ 事務所50年のあゆみ	1
■ 事務所管内の街の移り変わり	19
■ 事業紹介	
・ 道路整備事業	35
・ 一般国道1号 桑名東部拡幅	37
・ 一般国道1号 北勢バイパス	41
・ 一般国道1号 関バイパス	45
・ 一般国道1号 井田川拡幅・亀山バイパス・鈴鹿峠バイパス	47
・ 一般国道23号 鈴鹿バイパス	51
・ 一般国道258号 大桑道路	53
・ 一般国道475号 東海環状自動車道	55
・ 一般国道25号 名阪国道	59
■ 編集後記	69

50年誌の発刊にあたって

北勢国道事務所は、昭和 38 年一般国道 25 号名阪国道を新設するために名阪国道工事事務所として、三重県亀山市に設置されて以来、50 年という節目の年を迎えました。

この間、当事務所は、中部圏と近畿圏を結ぶ大動脈である「名阪国道（千日道路）」を開通させ、その後、1号鈴鹿峠バイパス、亀山バイパス、23号名四国道西部区間をはじめとする三重県北勢・伊賀地域における幹線道路の整備を担って参りました。

そして、現在では、広域的なネットワークの形成を図る1号北勢バイパス事業、関バイパスの整備、桑名東部拡幅事業、258号大桑道路の現道拡幅事業及び中部圏・三重県北勢地域の将来の骨格を形成する475号東海環状自動車道の整備・推進を行っております。

また、25号名阪国道におきましては、交通事故や老朽化する道路施設に対応する交通安全対策の整備方針に基づいた、インター改良・路肩拡幅等の交通安全対策及び橋梁耐震補強等の推進及び日常の維持管理、損傷した施設の修繕を行っています。

一方、迫り来る南海トラフ巨大地震への対応とし、橋梁との段差対策や災害対策資機材の確保など耐震性を含めた道路機能強化に取り組んでいます。

現在、我が国は「転換期」にあると言われており、今後、我が国の方向性は、「多様性の時代へ、自由な個の確立の時代へ」「少子・高齢化、人口減少」「環境問題の深刻化」「高度情報化」「グローバル化」と考えられ、これらの変化の下、国土交通省として、「自立した個人の生き生きとした暮らしの実現」「競争力のある経済社会の維持・発展」「安全の確保」「美しく良好な環境の保全と想像」「多様性のある地域の形成」の5つの目標の実現に向けて進めていくこととしています。

当事務所としても、北勢・伊賀地域の道路利用者や住民の方々の視点に立って、これまでと同様、引続き地域の皆様や関係各位とのコミュニケーションを深めながら、時代の変化に対応した「暮らしや産業を支える活力ある社会の形成」「安全・安心ができる暮らしの確保」「質の高い生活環境の創造への支援」を目標に定め、この実現に努めて参りたいと考えております。

北勢国道事務所 50 周年にあたって、北勢・伊賀地域の道路整備を通して、「活力ある社会」「安全・安心」「生活環境の創造」に貢献して参りたいと考えておりますので、今後とも変わらぬ御指導とご鞭撻をお願いしまして発刊の言葉とさせていただきます。



北勢国道事務所長
田邊 千秋